

名称	説明
な 75%値	水質汚濁に係る環境基準の適合状況の評価方法。調査期間内の全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$ 番目 (nはデータ数)のデータをもって75%値とする。BOD又はCODではこの値で環境基準の適合状況を判定する。
鉛 (Pb)	大量の鉛が体内に入ると急性中毒を起こし、腹痛、おう吐、下痢などが現れ激しい胃腸炎などで死亡することもある。少量の場合には食欲不振、頭痛、全身倦怠、貧血などを起こす。致死量は人間一人あたり10gである。
燃料電池	水の電気分解と逆の工程で、水素と酸素を科学的に反応させて、電気と熱を取り出すシステムのこと。排出ガスが少なく、発電効率が高く、廃熱等を利用できることから、今後、コージェネレーションを組み合わせるとこの利用が期待される。
ルマルヘキサン抽出物	ルマルヘキサン抽出物とは、水中に含まれる油脂、グリース、親油性物質等を総称して「通常『油分』」といわれており、鉱油及び動植物油等の油分の量を表す指標として使われる。
は パークアンドバスライド	市街地周辺部の駐車場でマイカーからバスに乗り換え、混雑する都市中心部にはバスで乗り入れて中心部の交通量を減らす方式。渋滞の緩和や二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減等、環境にやさしいシステムとして注目されている。
ばい煙	大気汚染防止法第2条第1項では、次の物質を「ばい煙」と定義し、排出基準を定めている。 (1)燃料その他の物の焼却に伴い発生する硫黄酸化物 (2)燃料その他の物の焼却または熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじん (3)物の焼却、合成、分解その他の処理(機械的処理を除く)に伴い発生する物質のうち、カドミウム、塩素等人の健康または生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質で政令で定めるもの。
バイオマス資源	動植物等の生物に起因する資源のこと。
ばいじん	焼却、加熱及び化学反応などにより発生する排出ガス中に含まれる粒子状物質のこと。大気汚染防止法では、燃料その他の物の焼却または熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじんをばい煙の一種として規定し、ばい煙発生施設の種類と規模ごとに排出基準を定めている。
PAN	パーオキシアシルナイトレートという大気中のNO ₂ 、炭化水素類が紫外線のエネルギーを吸収して反応し生成する化合物で、光化学オキシダントの一種である。
BOD (生物化学的酸素要求量)	河川中の汚物が水中の微生物により分解されるときに微生物が必要とする酸素量をいい、数値 (mg/l) が大きいほど有機性汚濁が進行していることを示す。ヤマメ、イワナなどの清水性魚類は2mg/l以下、アユ、サケなどは3mg/l以下、コイ、フナなどは5mg/l以下が適当。
PCB (ポリ塩化ビフェニル)	不燃性で化学的にも安定であり、絶縁性にもすぐれた物質で、その使用範囲は絶縁油、潤滑油、ノーカーボン紙、インクなど多方面に使用されていたが、カネミ油症事件の原因物質で大きな社会問題となったため、現在は製造が禁止されている。
ヒートアイランド	都市では大量のエネルギーが消費されており、さらに地面の大部分が舗装や建物で覆われているため、水分の蒸発による温度の低下が少なく、日中蓄えられた熱を夜間に放出するため夜間気温が下がりにくい状態になる。この結果、都市部では郊外と比べて気温が高くなり、等温線を描くとあたかも都市を中心とした「島」があるように見えることから、ヒートアイランド現象と呼ばれている。
ppm	Parts per million の略称。物質の濃度や含有率を表すのに使われ、100万分の1を意味する。水の場合は、1kg (約1リットル) 中のミリグラム数、1ton (1m ³) 中のグラム数を表し、大気の場合は1立方メートル中のガス容量 (立方センチメートル) を表す。
ヒ素 (As)	灰色で金属光沢があり、鶏冠石、石黄、硫ヒ鉄鉱などに硫化物として含有されている。殺虫剤など農薬に広く利用されている森永ヒ素ミレク事件が有名であるが、三酸化ヒ素 (亜ヒ酸) による中毒が多い。致死量は0.07～0.18g。

名称	説明
は 富栄養化	内湾や湖沼のように囲まれた水域（閉鎖性水域）では、水の変換が遅いので流れ込む栄養分（無機塩類・有機物）がとどまりやすく、ある限度を超えると、プランクトンや藻などが著しく増え、赤潮、アオコの発生や腐敗分解による酸素欠乏など、いわゆる、富栄養化現象を生じる。赤潮発生等が現れる仕組みについては、現在、なお不明な点も多いが、リンや窒素の流入をおさえることがこの富栄養化を防ぐのに効果的とされている。
複合汚染	複数の毒性物質による影響が相加相乗的に生じている環境汚染形態をさし、例えば、排気ガスで汚染された空気を呼吸し、農薬の入った食料を食べるといった場合であり、日常的に起こり得る問題である。
浮遊粒子状物質（SPM）	すすなどの大きな降下ばいじんと異なり、大気中に浮遊している超微粒子じん（粒径10ミクロン以下のもの）をいう。微小なため、長期間大気中に滞留し、呼吸器に悪影響を及ぼす。90%が燃えかすの炭素であるといわれ、自動車排気ガス等の人為的発生源と、土壌の巻き上げ等の自然発生源がある。
フロンガス	メタン・エタンなど、低級炭化水素の水素原子をフッ素等のハロゲン原子で置換したものの総称。用途としては、冷媒・エアゾール噴霧剤・発泡剤等があげられる。フロンガスは分解しにくいとため、成層圏にまで拡散して塩素を遊離することにより、オゾン層を破壊する。このため、紫外線が地上に到達する量が増え、皮膚ガンの増加をもたらす可能性があり、問題となっている。
粉じん	大気中に浮遊している微細な粒子状物質の総称。大気汚染防止法では、物の破碎、選別その他の機械的処理または堆積に伴い発生し、または飛散する物質を「粉じん」と定義している。（第2条第4項）さらに粉じんのうち、石綿その他の人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質で政令で定めるものを「特定粉じん」、特定粉じん以外のものを「一般粉じん」とし（同条第5項）特定粉じんについては規制基準、作業基準を、一般粉じんについては、その発生施設について構造・使用・管理に関する基準を定めている。
閉鎖性水域	瀬戸内海のように外海と非常に狭い開口部でしか接していない海域は、水の入れ替わりが少なく沿岸からの汚濁を受けやすい。このような海域や湖沼等を閉鎖性水域と呼ぶ。閉鎖性水域は、沿岸からの汚濁が蓄積され、河口の堆積や富栄養化が進行し、赤潮、アオコが発生しやすい。
pH（ペーハー 水素イオン濃度）	水質の酸性やアルカリ性の程度を示す指標であってpH7は中性を、それ以上はアルカリ性、それ以下は酸性を示す。水道水として望ましいpHは、pH6.5から8.5までの範囲である。